

2020年3月30日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

## 気象庁・港区立教育センター 管理運営業務を受託 ～様々な施設の運営実績を活かし長期的・安定的なサービス提供を～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、東京都港区虎ノ門に新築された「気象庁・港区立教育センター」について、3月1日より管理運営を開始いたしましたのでお知らせいたします。

### 気象庁・港区立教育センターについて

本施設は、国土交通省関東地方整備局と東京都港区がPFI事業により整備した地上14階、延床面積42,783.46㎡の複合用途ビルで、2020年2月に竣工しました。気象庁庁舎の他、港区立教育センター、港区立みなと科学館、気象科学館等が入居し、当社は、建物の維持管理・運営業務を担います。

「24時間眠らない」防災拠点としての気象庁、また、教育拠点としての機能を担う港区立教育センターの合築という施設特性に配慮し、職員、来訪者の安全と快適性・利便性に配慮した質の高い維持管理の提供を目指します。自治体の防災拠点としては、2013年よりPFI事業として、山梨県に所在する「山梨県防災新館」における運営管理業務を受託、実施しておりますので、その経験、ノウハウを活かして、長期的、安定的なサービス提供を行ってまいります。



### 東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行う総合不動産管理会社です。マンションで33万戸、ビルで1,100件の管理実績があります。また、行政施設（指定管理者・PFI等）でのホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設など様々な用途の維持管理運営実績もございます。

今後も、総合不動産管理会社としてのこれまでの実績をベースに、多様な施設特性にも対応できる高度な管理ノウハウを蓄積し、施設利用者にとって快適な建物環境づくり、資産価値の維持向上に努めてまいります。

<建物概要>

名 称 : 気象庁・港区立教育センター

所 在 地 : 東京都港区虎ノ門3-6-9 (港区立鞆絵小学校跡地)

敷地面積 : 5,515.45 m<sup>2</sup>

延床面積 : 42,783.46 m<sup>2</sup>

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター (担当: 伊藤)

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。